



No. 48

令和元年7月4日

発行 多治見市教育研究所

URL: <http://school.city.tajimi.lg.jp/kyoiku/>
本誌は、多治見市教育研究所ホームページ
上でもご覧いただけます。



「勇気づけと勇気くじき」

多治見市教育委員会 教育委員 中澤香代



皆さま、こんにちは。教育委員の中澤です。
さて、教育委員とは何か、ご存知ない方もあるかと思うので最初に簡単にご説明します。民間から(本市の場合)男性2名女性2名が自治体首長より推薦され議会の賛同を得て着任します。任期は4年2期までです。教育長を含む計5名で毎月会議を行い様々な教育関係案件の承認・議決をするのが主な仕事内容です。3人の子育て経験と、PTA 役員の経験で培った市民感覚を教育行政で活かすことが、私の役割ではないかと思っています。と、ここまで書きますと、優秀な母親と思われた方は その予想、大外れです。子育てが難しく、悩みが多い母親でした。

学校からも、よく電話がかかってきました。あれは本当にドキッとしますね。また、3人いれば三者三様の悩みがありますね。学業期後、すぐに家庭に入った私は社会人経験という自己鍛錬、社会性鍛錬の場がなく今から振り返ると子どもが子どもを育てている状態だったと思います。端的に言うと、子育てが辛かった…のですね。先生に注意ばかりされる我が子の行動が理解不能で「なんでできないの?」「どうしてお母さんを困らせることばかりするの!」「こんなことしていると大人になった時に困るよ!」と怒ってばかりいました。特に元気すぎる長男との家庭内葛藤はすさまじいものでした。宿題を忘れる、友達と喧嘩して手が出る(何度、菓子折りをもって謝りに行ったことか)机の中がぐちゃぐちゃ、ノートの字が読めない…などなど、まだまだありますがきりがないのでこの辺でやめます。

さて、ここで問題です。先の「」内のセリフ。どこが問題だと思いますか?そうです、関心が自分のことばかりですね。私が先生にどう思われるか?世間からどう評価されるか?嫉妬ができないダメな母親と非難されることを恐れて、怒ることで子どもの行動を変えようとしていました。が、本当に困っていたのは彼。上手くやれない対人関係や生活面、学業面で困っていたのは本人でした。

中学の部活で、試合中にストンと普通ならありえない状況で眠り込んでしまう彼を見て、母親仲間から「一度専門医に見せた方がいい」と病院を紹介され、様々な検査の後医師から「発達障がいかもしれませんね」と言われて、目の前が真っ暗になった時の気持ちを覚えています。ネットで調べれば調べるほど認めたくない反発心が起こり、将来を悲観したことも思い出します。

落ち込んだ原因は親の無知とネガティブな妄想でした。(今の私なら当時の私に大丈夫だよ!不安に思うことないよと声をかけます)苦手なことを何とか克服しようと、より厳しく接してしまいました。逆効果でした。エネルギーのある彼は反発も大きくなり親子関係が崩れました。その後、紆余曲折ありましたが、あれから10年、私は息子に人間力を鍛えられ、彼は得意な指先の器用さや感覚の細やかさを活かせる仕事を、同世代の仲間より数年遅れで自分で探し出し自立、職人の道を歩んでいます。今はとても仲良しです。良かれと思って“怒り”で勇気くじきばかりをしてきました。勇気づけとは、結果の如何に関わらず、存在にOKを出して居場所、役割を作っていくこと。子どもの目をしっかり見て、その言葉に耳を傾け子どもの考えを尊重することでした(何でも要求をきくことではありません)。お互いの状況を理解するように努め、現実とすり合わせをし、信頼することに尽きます。育てたいのは「私には力がある」「人々は仲間だ」という生きるときのゆるぎない安心感です。困った時こそ、多くの友人や先生方に支えていただけた体験が、彼の他者への信頼感、安心感のベースにあるようです。親と先生は“人として成長させる”という同じ目的に向かっていく同志です。お互いへの尊敬と感謝を忘れず、子どもと己の人的成長のために協働、共学して参りたいものです。最後に、皆さま、今後とも多治見市の教育への温かいご支援ご協力をよろしくお願いします。

土曜学習「わがまち 多治見大好き講座」

5月虎溪山永保寺を学ぶ

土曜学習「わがまち 多治見大好き講座」は、令和元年度も「多治见到愛着をもち、誇りに思う大人に育ってほしい」という願いのもと、9回を予定し、スタートしました。

5月25日は、「虎溪山永保寺を学ぶ」を開催し、61名の子どもたちが受講しました。

昨年度に引き続き、退職教員サポーターと中学生ボランティアを募集し、退職教員5名、中学生21名に助けられました。また、4名の多治見観光ボランティアガイドの方にも助けられました。

永保寺の国宝や名勝にふれる中で、700年にもおよぶ虎溪山永保寺の歴史や文化を体感し、児童・生徒の「ふるさと多治見」への愛着や誇りを深めることをねらいとして行いました。

普段は公開されていない国宝の開山堂や観音堂に入って見学したり、座禅堂で座禅を体験したりしました。希望により、警策をいただいた子もありました。また、雲水さんと呼ばれる修行僧の方に説明をしていただいたり、質問に答えていただいたりしました。

本物を見て、体験して学ぶことで、歴史の重みを感じてもらえたのではないかと思います。



座禅体験で
警策をいただく



観音堂での説明

6月わがまち多治見の 現代陶芸を学ぶ

6月15日(土)は「わがまち多治見の現代陶芸を学ぶ」を開催し、78名の子どもたちが受講しました。

この日も退職教員サポーターと中学生ボランティアを募集し、退職教員5名、中学生25名に助けられました。

当日は、多治見の主要産業である陶磁器についての理解と関心を深め、ふるさと多治见到愛着や誇りを深めることをねらいとして行いました。

セラミックパーク MINO では転写シートを使った絵付け体験を、岐阜県現代陶芸美術館では、現代陶芸作品の鑑賞と普段は見られない美術館の裏側を見学させていただきました。

転写シートを使った絵付け体験では、しわにならないように作業するのが難しかったのですが、中学生ボランティアに丁寧に教えてもらうことで、低学年の児童も楽しそうに作業することができました。

実際に体験することで、陶磁器作りの楽しさを味わってもらえたのではないかと思います。

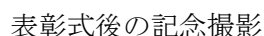
転写シートを使った
絵付け体験



陶芸作品の鑑賞

26人の児童・生徒が選んだテーマは様々であり、大変興味深いものでした。地域のこと、共に生きるということ、平和や環境に関わること等、小・中学生ならではの新鮮な感覚で、広く、深く周囲を見つめ、気付き、考えたことを述べました。周りの人を思いやったり、将来を展望したりして、前向きに自分の生き方を切り拓いてこうとする強い姿勢や決意が感じられました。

《審査結果》	＝中学生＝
最優秀賞	
小泉中学校	市原 佳朋 さん 「スポットライトの位置を変えてみよう」
優秀賞	
小泉中学校	小木曾 芽生 さん 「人工知能との共存社会」
陶都中学校	郷地 柚羽 さん 「鋭利な冗談」
社会を明るくする運動賞	
南姫中学校	李 恩東 さん 「自分らしく輝いて生きる」
奨励賞	
北陵中学校	水野 遙太 さん 「選択肢」
南ヶ丘中学校	加藤 拓空 さん 「生き方」
笠原中学校	宮本 梨央 さん 「子どもスタッフの活動を通じて」
小泉中学校	熊澤 苗 さん 「伝え合い理解し合うことの大切さ」
陶都中学校	大矢 陽菜 さん 「普通ってなんだろう」
多治見中学校	山岸 陽心 さん 「心を開いて」
南ヶ丘中学校	塩田 優羽 さん 「きらわれる勇氣」
多治見中学校	加藤 茜音 さん 「支えることの大切さ」
平和中学校	安藤 光汰 さん 「僕の『夢』を叩かないで」



ALT の紹介

多治見市には、現在 9 名の ALT が在籍しています。市教研等にも参加していただきます。日本語も話せますが、休み時間等に英語で会話をしていただければ、先生方のスキルアップにもつながります。次の紹介文を参考に是非英語で話しかけてみてください。 *Let's try !*



Atahar Syed Al
Bangladesh
English is more important than ever.
Let's have lots of fun with English.



FROM KENYA
Christine Makokha
Hi, I am very excited to study English with Tajimi students. Let's have fun as we learn English. We can do this!



Hello. I'm
Julius Igbinedion.
I'm really happy to be an ALT in Tajimi City. Let's do our best!
(NIGERIA)



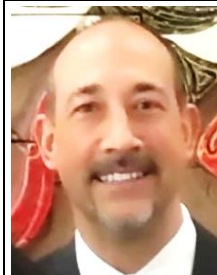
Hello ! My name is **Lalaine.** Please call me "**Lala**". I'm from the Philippines. I live in Kani. I'm looking forward working with you all.



Hello students.
I'm glad to be part of your school. My goal is to help you become active speakers of English. Let's try our best because yes we can. Have a great English studying year.
Frank Dogbe U.S.A.



Hiroko Osaka 大坂浩子
New school year has started.
I'm looking forward to seeing new students and teachers. Let's enjoy learning English together.



Hello everyone, Please call me **Ken.** I'm from Canada and enjoy living in Tajimi. Please if you see me, say "Hi". Good luck. I'll do my best this year.



WILLIAM DEASY
IRELAND
Make learning English fun for all students. Make teaching English fun for all teachers!



ROBERT MIDDLETON
U.S.A.
Be curious and discover the world.
Language is the key.

初任・新規採用の先生の紹介

「子どものために」

陶都中学校 久保田 孝穂

私は、子どもに慕われる先生を夢見て教員を目指しました。そして、教員として道を歩み始めた今、上手くいったこともある反面、悩むこと、上手くいかないことも多くあります。そこで、特に難しいなと感じたことは、教員として毅然とした態度で生徒と関わることです。優しく、明るく接することはもちろん、時には厳しく指導することも生徒のために必要であると指導をいただきました。しかし、まだまだ生徒の様子をうかがってしまい、見過ごしてしまうことがあります。それを改善すべく、今は、生徒の顔色をうかがう前に指導をし、その後の対応はそれから考えるようにして、毅然とした態度で生徒と関われるように努力しています。



「子どもの表情から…」

陶都中学校 高井 尚輝

笑った顔、怒った顔、悲しそうな顔、子どもたちは日々いろいろな表情で学校に登校します。そして、様々な活動の中でもいろいろな表情を見せます。特に、授業の中では、課題に一生懸命に取り組む『真剣な表情』、課題が解決したときに見せる『うれしそうな表情』、できた喜びを仲間と共有する『わくわくした表情』などが見られます。一つの課題に対して、仲間と協力しながら、一生懸命に取り組む表情を見られるのが毎日の楽しみです。



もちろん、分らずに『悩んでいる表情』、『モヤモヤした表情』もあります。そのような表情を見たときには、次の授業では少しでもそれらの表情が減るように自分の授業を見直し、改善に努めることができます。

子どもの表情から日々幸せや喜びを感じながら、自分自身の成長にもつながっています。

「自分の願いをもつことの大切さ」

多治見中学校 滝沢 悠一郎

教員となり、3ヶ月が経ちました。そんな今、私が教員として大切だと思うことは「子どもにこうなってほしい」と私から子どもへの願いをもつことです。教科指導でいえば、初めは余裕がなく50分間の授業を計画通りに進めることしか考えられませんでした。しかし、理科を通して子どもにどんな力をつけさせたいかと考えた時に出たのが「考える力」でした。それから授業で考えさせることを増やしていったところ、授業後の手応え、子どもの意欲がよく感じられるようになりました。教科指導だけでなく、学級経営・生徒指導でも自分の願いをもって、子どもに指導していけるようにしていきます。体育祭に向けて1年B組の生徒とともに常時活動から全力と協力を大切にして頑張っています。



「挑戦して学び続ける」

平和中学校 小椋 健司

「挑戦」、これは私がこれまで生きてきた中で大切にしてきたことであり、子どもたちにも大切にしてほしいと思っていることでもあります。教師としての生活が始まってから3ヶ月が経ちました。この3ヶ月間は挑戦の連続でした。分からないこと、失敗したことも多くありました。しかし、そのたびに先輩方が相談にのってくださり、問題解決につながるだけでなく、新たな発見をすることができ、自分自身の成長にもつながりました。



初めは、子どもたちから心配されるほど戸惑いの連続でした。しかし最近では、子どもたちと自分自身の成長を実感することができ、とてもやりがいを感じています。

これからも、失敗を恐れず積極的に挑戦し、多くのことを学び、人間としても教師としても成長するために努力していきます。

「生徒と共に」

小泉中学校 松口 眞芳

教員として働きはじめ、2ヶ月が経ちました。毎朝、生徒と共に朝部活に一生懸命取り組み、一緒に汗を流して楽しく過ごしています。



先生として過ごす中では、うまくいくこともあれば、うまくいかないこともあります。しかしながら、生徒たちはいつでも、「大切な今」を生きています。そのため、二度とない時間を無駄にしないためにも、常に全力で生徒たちと向き合っています。それでも、分からないことがあるときには、職員室の先輩方が小さなことでも細かく丁寧に、時間を惜しまず教えてくださいます。

未来ある生徒たちを預かることに責任を感じつつ、生徒や先輩方から多くのことを学びながら成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。

「日進月歩」

南ヶ丘中学校 矢野 香菜子

教員になって3ヶ月が経ちました。学生として学ぶ立場にいた頃とは大きく環境が異なり、様々な配慮が大切になっています。さらに、教材研究など忙しい日々ですが、生徒の笑顔を見ると元気になり、今日も頑張ろうと思えるようになりました。授業も思うようにいかないことばかりで、校長先生をはじめ、先輩の先生方には、仕事を丁寧に教えていただいたり、助けていただいたりしながら毎日一歩ずつ進んでいます。これからも生徒の様子をよく見ながら、生徒と共に成長するとともに、生徒の良い姿をたくさん見付け、価値付けながら、生徒の成長を共に喜べるようになりたいと思います。学ぶことがたくさんあるので、はやく吸収して、それを活かし自分のオリジナルを創っていきたいと考えています。



「生徒の成長に携わる仕事」

北陵中学校 伊藤 紗弓

赴任してから3ヶ月、生徒に支えられ日々の生活を送っています。授業で前のめりになって仲間の話を聞く姿、悩んでいる仲間と一緒に問題を解決する姿、学級のために呼びかけをする姿。生徒たちの一つ一つの頑張りに感動し、パワーをもらっています。



生徒が成長する様子を間近で見られるこの仕事にやりがいを感じる一方で、自分の一言一言が生徒の成長に関わると思うと、責任も感じます。普段なかなか挙手をしない生徒が社会の時間に挙手をしたので「挙手を頑張ったね」と声をかけると、笑顔で「はい!」と応えてくれました。数日後、彼女はノートに「今日は理科でも挙手ことができました。」と書いていました。気持ちを奮い立たせて挙手をし、成長する様子を見て嬉しくなりました。彼女の行動の背景には学級の仲間の存在があります。今後も仲間と協力し、関わりながら個人が成長できるよう、私も支えていきたいと強く思っています。

子どもと共に、私も成長していきます。

【お知らせ】

令和元年度

第63回 多治見市科学作品展

日時：9月7日（土）

9月8日（日）

9時～17時まで

場所：バロー文化ホール 展示室A、B



多治見市21校の小中学生の皆さんが、夏休みに取り組んだ科学作品の展示会です。各校の優秀作品が展示されますので、是非、ご覧になってください。

【お知らせ】

令和元年度

第26回 多治見市連合生徒会交流会

日時：8月5日（月）10時～16時

8月6日（火）9時～12時

場所：とうしん学びの丘“エール”

5日は文字職人 杉浦 誠司 氏の講演、

6日は各中学校の取組の交流を行います。

